

朗読コンテスト

令和4年度文の京ゆかりの文化人顕彰事業

鷗外生誕160年没後100年事業

「鷗外から 鷗外へ」

【課題作】指定部分

*以下の参考書籍は文京区立図書館で所蔵しています。書店等での入手可能です。
*版によっては頁数が異なる場合があります。

作家名	作品名	参考書籍	頁	指定範囲(読み始め～読み終わり)
森 鷗外	青年	新潮文庫 『青年』 平成24年1月20日94刷	75-76頁	一体日本人は生きるということを ～増しかも知れないと思う位である。
	高瀬舟	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	257-258頁	庄兵衛は今喜助の話を聞いて、 ～大いなる懸隔のあることを知った。
	舞姫	新潮文庫 『阿部一族・舞姫』 平成20年6月10日79刷	14-16頁	今この処を過ぎんとするとき、 ～恥ぢて我側を飛びのきつ。
	最後の一句	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	245-246頁	この時佐佐が書院の敷居際まで ～引き取れ」と言い渡した。
	雁	新潮文庫 『雁』 平成20年10月5日111刷	129-130頁	お玉の目はうっとりとしたように、 ～取留のない処に帰着してしまった。
	山椒大夫	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	185頁	むかいがわ しろね かさ 炉の向側には茵三枚を畳ねて ～袋から出した仏像を枕元に据えた。

お問い合わせ

〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2
跡見学園女子大学 文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係
TEL：03-3941-7420 URL：https://www.atomi.ac.jp/univ/



文京区



文京区
シンボルマーク



跡見学園
女子大学



森鷗外生誕100年

鷗外生誕160年没後100年事業 「鷗外から 鷗外へ」

本年は森鷗外生誕160年、
没後100年に当たります。
これからも時代を超えて
森鷗外作品が読み継がれていって
ほしいと願っています。

課題作：森 鷗外

「青年

「高瀬舟

「舞姫

「最後の一句

「雁

「山椒大夫

画像：文京区立森鷗外記念館蔵

朗読コンテスト

日時 | 令和4年11月13日(日) 午後1時開演

会場 | 跡見学園女子大学ブロッサムホール

文の京ゆかりの文化人顕彰事業

■主催／文京区 ■主管／跡見学園女子大学
■協力／一般財団法人NHK放送研修センター

令和4年度